



～ 夢に挑戦! 笑顔がいっぱい

やる気がいっぱい 根気がいっぱい ～

車いすバスケット!

14日(木)、全校生徒を対象に『車いすバスケットボール体験教室』が行われました。この体験教室は、車いすバスケットボールの体験を通して、障がい理解や障がい者理解を深めるとともに、相手への思いやりや相手の立場に立った行動について考えるなど、人権意識の向上を図ることをねらいとしています。秋田県車いすバスケットボールクラブの方々から実技指導していただきましたが、車いすを操作しながらボールを運んだりパスしたりと、実際に体験してみるとハードなスポーツだと分かりました。

体験した生徒からは「みんなと協力できた」「みんなで楽しくプレーができた」「車いすバスケットを体験できてよかった」などの感想がありました。障がい理解を深めるとともに、相手を思いやるよい機会になりました。



1年生薬物乱用防止教室

13日(水)、1年生を対象に薬物乱用防止教室が行われました。「薬物乱用の怖さについて」と題し、大仙警察署生活安全課の松倉さんを講師に招き、講話してもらいました。薬物乱用による被害を正しく認識することや自分の大切さに気付き、薬物乱用の誘いを断れる強い心を養うことが大切だと教えてもらいました。



3年生保育学習

13日(水)、家庭科の保育実習として、3年生のみなさんが『つきの木こども園』を訪問し、園児の皆さんと交流しました。家庭科の授業で自分たちで制作した、手作りおもちゃをたくさん持って、1時間ほど園児たちとふれ合うことができました。

園児の皆さんは、遊んでくれるお兄さん・お姉さんに夢中で、たくさんの笑顔や笑い声であふれていました。

こども園の先生方は、積極的に園児と関わり、上手に遊んでくれる3年生たちに感心していました。3年生の皆さんの、童心に返っての笑顔も素敵でしたよ。



2年生地域とつながるプロジェクト

12日(火)、2年生が取り組んでいる『長福山の山姥』の紙芝居づくりは、発表会に向けてシナリオの音読練習を行いました。今回は、日本むかしっこの会の黒沢さんから方言指導をしていただきました。普段、方言を使い慣れていないこともあり、悪戦苦闘しながらの音読練習となった生徒もいました。

11月26日に南外小学校で紙芝居発表会を行い、小学生や地域の関係各所の方々に披露する予定です。

